

## ～たのしく安全に過ごすために～

- 1 安全に過ごせるように、お子さんから目を離さないようにしましょう。
- 2 紙オムツや、ゴミは持ち帰りましょう。
- 3 使い終わったおもちゃは、もとの場所に戻しましょう。
- 4 消毒用のタオルを置いてあります。必要に応じてお使いください。
- 5 いろいろな情報を乳幼児コーナーの掲示板(ホール・ほっとルーム)に掲示しています。どうぞご覧ください。
- 6 スマホでの通話をご遠慮ください。また、写真撮影をする場合は他の利用者の方への配慮をお願いします。(許可なく撮影したりSNSに上げたりしないようにしましょう。)
- 7 困ったことや気になること(相談ごと、ケガ等)があれば職員までお気軽にお声かけください。



### 中野区立野方児童館

中野区新井2-48-10

電話 3387-8836

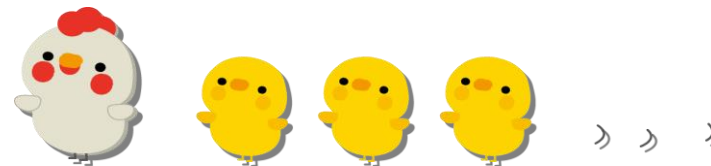
FAX 3387-8831

✉nogatajidoukan

@city.tokyo-nakano.lg.jp

## ようこそ野方児童館へ

乳幼児を育てているみなさんへ  
野方児童館 ご利用案内



野方児童館は、乳幼児と保護者のみなさんがのんびり過ごしたり、おしゃべりしたり、子育ての情報を交換したりできる地域の身近な施設です。子育ての仲間を作りませんか？  
児童館はみなさんの『子育て・子育て』を応援します。

## ～利用案内～

### 【開館時間】

火曜日～金曜日 午前10時～午後6時

土曜日・学校休業日 午前9時～午後5時

### 【休館日】

日曜日・月曜日・国民の祝日・年末年始

### 【来館したら】

- 自転車、ベビーカーはそれぞれの置き場に置きましょう。
- 来館したら親子で手を洗いましょう。
- 事務室前、またはのんちっちルーム出入り口の「来館者名簿」へ記入しましょう。
- 初めて利用される方は、「利用者カード」の記入をお願いします。

子育てひろば

## のんちっちひろば(1階ホール)

1階ホールには、乳幼児用のおもちゃがいろいろあります。コンビカー、ままごと、赤ちゃんおもちゃなどであそべます。絵本やママ向けの本も揃えています。

◆開館時間から小学生が帰って来るまで、乳幼児親子優先タイムとして利用できます。(乳幼児親子のみ対象)

土曜日・学校休業日は、午前9時～11時45分まで利用できます。

◆図書貸し出しも行っています。

◆おむつ替えは、「だれでもトイレ」をご利用ください。



子育てなかま作り支援事業

## のんちっちタイム

水曜日と金曜日は、午前11時～11時45分、火曜日と木曜日は11時30分～11時45分が「のんちっちタイム」です。親子で遊んだりお友だちと交流したり、11時30分からは体操や手あそび、パネルシアターや季節の行事などを楽しみます！また、「こんなことやってみたい」というみなさんの声を、活動に活かしていきたいと思っています。

【実施期間】

春期 2024年4月10日(水)～7月12日(金)

秋期 2024年9月4日(水)～12月20日(金)

冬期 2025年1月10日(金)～3月19日(水)

【実施曜日と時間】

	火	水	木	金
11:00～11:45		◎		◎
11:30～11:45	●		●	

↑いずれの曜日でも体操などのプログラムは11:30～11:45に行います。

◆行事等の都合により開始時間が変更になることがあります。



乳幼児親子ほっとルーム

## のんちっちルーム(1階)



乳幼児親子の専用の部屋です。乳幼児向けのおもちゃや絵本などの他、授乳もできます。

利用できる方 乳幼児と付添いの方

開室時間

◇火曜日～金曜日 午前10時～午後5時30分

◇土曜日 午前9時～午後4時30分

利用にあたって

- ◆口にいられてしまったおもちゃは専用のかごに入れてください。
- ◆ゴミの持ち帰りと、次の人のために簡単な清掃をお願いします。
- ◆行事のため、利用できない日、時間帯があります。
- ◆みなさんが気持ちよく過ごせるよう、ご協力をお願いします。

食事について

◇火曜日～土曜日 12時～1時

のんちっちルーム横のスペースに座卓をおいて食事がとれます。職員にお声がけください。

=リサイクルコーナーのご案内=

不要になった子ども服(新生児～100サイズまで)や、紙おむつ・靴などを、みなさんでリサイクルしましょう。

\*リサイクルボックスはのんちっちルームにあります。

\*品物は事務室までお持ちください。

(洗濯してお持ちください。汚れのひどい物をご遠慮ください。)

\*欲しい方はボックスから自由にお持ちください。



相談

子育てのことで悩んだり、迷ったりしたときは気軽に職員にご相談ください。必要に応じて専門機関を紹介することもできます。